

平成28年度 第2回 池田市総合教育会議 議事録

日 時：平成28年8月29日（月）午後4時～午後5時

会 場：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：倉田市長、田渕教育長、山岸委員、河野委員、藤田委員、小林委員

<事務局>

藤田副市長、総合政策部 松浦、政策広報課（斎藤・野勢・山田）

教育部 齋藤 田上 阪 教育政策課 鈴木 教職員課 西山 学校教育推進課
荒河

管理部 亀井 総務・学務課 干川 保健給食課 塩山

傍聴者：4人

1. 開会の挨拶

<市 長>

- ・先生方には日頃より教育委員会にご協力いただき、おかげ様で日々着実に教育日本一に近付いている。
- ・トライと連携している学習塾では、全校生徒の約11%、280名を超える生徒が利用している。本当に無料か、途中で有料にならないか、という問い合わせがあり、教育委員会の事業なので無料であると回答したところ、母子家庭なので大変助かるという嬉しい声があった。一方で、特定の子どもに公費を投入することに対する批判があるのは事実である。しかし門戸は全員に広げており、応募者が増えることが予想されるので予算を1500万円から増加させる必要がある。
- ・渋谷の学園食堂はひと夏で900名以上の利用者があり、PTAの役員は「苦勞のし甲斐がある」とおっしゃっていた。このように、一步一步教育日本一に近付いているといえる。
- ・ほそごう学園の今後については懸念事項なので、今日はそのことについて話し合いたい。

2. 議事

(1) ほそごう学園におけるコミュニティ・スクール等の導入について

○事務局よりコミュニティ・スクール等の制度について説明。

コミュニティスクール：学校運営協議会（市教育委員会が指定）を置く学校。

大阪府内では河内長野市のみ。

義務教育学校：義務教育を一貫して行う。多くの条例、規則改正が必要となり、議会の承認が必要。大阪府内では守口市のさつき学園のみ。

特認校制度：他学区からでも入学できる制度。箕面市、柏原市で実施。

<市 長>

- ・制度の説明をしていただいたが、教育委員会としての考えはどうか。

<教育長>

- ・ほそごう学園に特色を与えるのが教育委員会の使命。
- ・コミュニティ・スクールについて、地域の方が学校教育に関わるのが今後の学校のありようである。予算、人事、教育内容などについて地域の方や専門家に提言をいただきながら、ほそごう学園に特色を与えていける1つの枠組みであるとする。
- ・義務教育学校は、教育課程に特色を与える1つの枠組みであるとする。たとえば英語教育を進める、小中学生が一緒にいることで工夫して学習するなど。
- ・このように特色化が進めば「特色のある学校で教育を受けさせたい」という保護者の願いを叶える、特認校制度が有効になると考える。

<委員>

- ・コミュニティ・スクールについて、ほそごう学園の場合は「地域とともにある学校づくり」の延長線上に地域活性化、学校の存続というミッションがあると思う。そのミッションを理解していただければ、かなり有力なアドバイザーになる。コミュニティ・スクール、特認校制度を取り入れることも大事だが、特に協議会のミッションが重要だと感じている。

<委員>

- ・小中一貫で1年生から9年生までいるので人数は少なくとも内容が複雑。協議会は、諮問して多くの意見を取り入れる意味で有意義。
- ・義務教育学校について、小中学生は基礎の学力・体力を培う場なのであまりに特化するの危険であると感じる。他の学校との整合性も考えていただきたい。
- ・学習塾でほそごう学園の利用率が35%と高く、学力向上と共に勉強に対する意欲が高まっていると期待している。
- ・学園食堂では子どもと学校との結びつきを感じた。もっと取り組みを市外に発信し、「子育てするなら池田」と思ってもらいたい。

<市長>

- ・勉強の苦手な子が積極的に食事の手伝いをしていたと聞いている。広報からどんどん記事送りをすれば、教育をがんばっていることを記者も分かってくれると思う。教育からも広報に情報提供してほしい。

<委員>

- ・コミュニティ・スクールは、1970年代のイギリスの理事会制度を基にしている。学力低下を受け、サッチャー首相が市場原理と自己責任を徹底させるために導入した。荒れた学校は自然淘汰されるという制度だが、逆にほそごう学園の場合は学校として生き残る、特色をもたせるために教育委員会で取り組むべき。
- ・学校の自由選択という意味で、コミュニティ・スクール、特認校制度は一緒に考えてよいと思う。その結果、教育課程や内容を9年間で自由度をもたせる義務教育学

校を取り入れ特色を持たせる。

- ・特色は、学力かスポーツのどちらかだと思う。
- ・スポーツではゴルフがいいと思う。伏尾ゴルフ、箕面ゴルフ、池田ゴルフと3つもゴルフ場が市内にある。府内にゴルフ進学できる制度があればと思う。

<市 長>

- ・池田北高校の将来展望の中にゴルフに特化するという提案があった。ゴルフ場でもジュニアの育成に協力的なので、条件は整っている。

<委 員>

- ・コミュニティ・スクールに関して、ほそごう学園の場合は人を集めるという経営的な運営が必要なので、国の定めた枠組みではなく、池田版コミュニティ・スクールとして柔軟に運営できる制度があってもいいと思う。メンバーによっては基本方針が承認されない、もしくは指定の取消しをせざるを得ないという事態になることも考えられるので、池田版の制度があればと思う。
- ・義務教育学校について、学習かスポーツかとおっしゃっていたが、両方でもいいと思う。適正規模が18から27学級ということなので、規模を維持することが魅力ある学校づくりのために必要。
- ・他市から伏尾台地域への転入を促すために、子どもが小学校を出るまで固定資産税を免除するなどの特典などを考えても面白いと思う。

<市 長>

- ・子育て特区的に固定資産税を半額にするなどは可能かもしれない。おっしゃるように教育委員会だけではなく市長部局の制度を組み合わせることが大事。
- ・議会への提案や手続きなど、タイムスケジュールはどのようなものか。

<教育委員会事務局>

- ・義務教育学校は条例等の改正が必要なので、4月1日開始は厳しい。
- ・特認校制度はどこかのタイミングで審議会を開催し意見を聞く必要がある。
- ・コミュニティ・スクールは規則を制定するだけなので比較的対応しやすい。

<市 長>

- ・やるなら来年だと思う。

<委 員>

- ・やるなら早い方がいいが、ほそごう学園の特色を学習とスポーツのどちらに特化するか、特色を出すのが先か特認校が先かなど、併せて議論する必要がある。
- ・コミュニティ・スクールは、メンバーや運営方法の議論が必要。
- ・やると決まった後、広報をきちんとしてほしい。

<市長>

- ・ほそごう学園を知らない人は多い。広報誌に改めて施設や教育内容を載せてもよい。
- ・教育の特色やスピード感について、教育長のご意見は。

<教育長>

- ・教育の中身をどう特色化するか。学力、スポーツのどちらにするか。施設一体型になったとき、小学4年生くらいから中学の部活に入れるようにして課外活動にするという案があった。
- ・たとえば選択性のコマで学習か課外クラブを選ぶことができれば大きな特色になると思う。

<市長>

- ・やるなら議会、保護者の方、地域の方、オール池田で承認をとる必要があるが、時間をかけるのではなくやる気を示すのが大事だと思う。

<委員>

- ・スピード感は大事だが、コミュニティ・スクールを実際にやる際に評議員の人選が難しい。校長の強いリーダーシップ、ビジネス感覚に優れたアドバイザーが必要。
- ・学力かスポーツかの二者択一で、つぶしがきかないというのは困る。もしスポーツでケガをしても十分勉強でやっていけるような環境は公教育として確保すべき。
- ・イメージを持たせることが必要。楽しい学園生活のイメージを早めに作る。

<市長>

- ・ビジュアル的に見せていくことは大事。なぜここだけPRするのかという理由付けは必要。

<委員>

- ・指導内容に自由度を持たせるため義務教育学校にすることは必要だと思う。ただ学年に2クラスが維持できないという報告を受けた。まず人数を確保すべきだが、特色がないと人が来ないので、悩ましい。
- ・やはり交通の便がよくない。市街化調整区域の規制を緩めないと、人を呼ぶのは厳しいと思う。
- ・学校全体でいろいろな経験をさせてあげるのも1つの特色になる。ゴルフの経験日を年に1回設けるなど。
- ・ICTを取り入れた授業も検討してほしい。モデル校としてまず取り入れ、ほそごう学園から広げていけば不公平感がないと思う。

<市長>

- ・ゴルフ場の休業日に体験することは可能。たとえば、五月丘小学校は隣に五月山体育館があるので、冬に水泳の練習ができるなどの立地を活かすことも教育の特色である。

<委員>

- ・3つの制度をいっぺんにしなくてもいいのではという気はする。
- ・私学経営的な戦略が立つかが重要なポイント。コミュニティ・スクールも義務教育学校も手段、戦術の話。学校の経営はどこも大変であり、競争になる。
- ・先ほどから議論している特色、税制優遇や高校との連携、交通費の補助といった特典を与えること、広報をしっかりとすることがどれくらいのスピードでできるのかが重要。制度を先にして後から考えるという方法もある。

<市長>

- ・高校との連携について、池田北高校は来年は3年生だけになる。中学3年生からは3つ上のお兄さん、お姉さんにあたるが、ほそごう学園と連携しやすい位置にある。
- ・今後は私学経営的な戦略を検討すべき時期にきている。おっしゃるとおり、3ついっぺんにしなくてもできるところから始められればと思う。
- ・プールは別の中学でも話が出たが、五月山体育館のプールをレーン分けして、ここからは中学生という使い方はなじみにくい。体育館全体で管理公社の見直しも含めて提案があるので、五月丘小学校だけでなく多くの子どもたちが冬場に使えるよう工夫していきたい。

3. 閉会